

# NPO 法人ガーデンを考える会 平成25年度通常総会 記念セミナーのご案内

拝啓 時下ますますご清祥の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。さて、きたる6月11日14:10より当会平成25年度通常総会の記念セミナーを下記のとおり開催いたします。よろしくご参加ください。 敬具

## 【講演内容】(詳細次頁)

### ■ 食とガーデン活性化

講師:クッキングサロン「幸せ中国家庭料理」代表 小薇 氏

### ■ ヨーロッパでの庭造り～枯山水庭園は語る。

講師:(有)野村庭園研究所取締役 野村勘治 氏

【場 所】 ユニマツト青山ビル6階 会議室(前 (株)リック東京オフィス)東京都港区南青山 2-12-14

【日 時】 2013年6月11日(火) 14:10～17:00 セミナー

17:10～19:00 懇親会(名刺・情報交換)

参加費	セミナー:2,000円 ・ 懇親会:3,000円 (お申込受付後請求書をお送りします)		申込締切	5月17日(金)
<b>セミナーお申込用紙</b>				
会社名				
参加者氏名	(セミナー・懇親会)		(セミナー・懇親会)	
	(セミナー・懇親会)		(セミナー・懇親会)	
連絡担当者	担当者部課名			
御住所	〒			
TEL			FAX	
mail				

上記ご記入の上 **FAX 052-571-2208**

NPO 法人ガーデンを考える会 事務局 TEL:052-571-7911 FAX:052-571-2208  
〒451-0045 名古屋市西区名駅 2-25-10-4F e-mail:npogarden@green-joho.jp

14:10~15:30

【食とガーデン活性化】

講師紹介



小薇(しゅうえい)様

人気中国料理家 世界家庭料理研究家  
クッキングサロン「幸せ中国家庭料理」代表

小薇(シャウウェイ) 本名は蔡 薇(サイ・ウェイ)。中国上海市調理協会法人会員。

人気中国料理家。世界家庭料理研究家。クッキングサロン「幸せ中国家庭料理」代表

果物と音楽の郷と呼ばれる中国・新疆ウイグル自治区出身。料理好きな植物学者の父親とオペラ歌手の母親の間に生まれ、幼い頃から料理に関心が高く、鋭敏な味覚を養う。

中国各地の家庭料理をはじめ、中央アジアなどシルクロード料理に通じる。

大学卒業後、上海の人気アナウンサーとして活躍し、1994年来日。朝日カルチャーセンターで中国家庭料理を教え、人気を博す。その多彩な料理のセンスは、料理雑誌『エル・ア・ターブル』で評価され、第三回若手料理業界人フードバトルのグランドチャンピオンに輝く。

「はなまるマーケット」、「ヒルナンデス!」、BS「ほっと@アジア」などのテレビ番組に登場し、『エル・ア・ターブル』や「Dancyu」などの料理雑誌でのレシピも好評である。

現在東京中野区でクッキングサロンを主宰する。シャウ・ウェイの料理の持ち味は、食材の風味や自然の味を生かしつつ、中国の伝統の味を守りながら和や洋の要素を取り入れて、モダンで斬新なスタイリングを生み出す点にある。

まるでダンサーのようにリズムカルな手さばきは、エネルギーで魅惑的な存在感を感じさせる。

美容と健康に気を使いながら、心身共に満たされる幸福な味を追求していくシャウ・ウェイの料理は、今後ますます注目されるに違いない。

著書:「小薇流ひと手間で本格中華おかず」「愛しい上海料理」朝日新聞出版社より

講演概要

医食同源の中国家庭料理から考える家庭ガーデン(家庭菜園)の重要性と活用。現代の人々がもっと元気の出る暮らしはつまり食にあり、元気の出る食事を摂りながら、暮らしをもっと豊かにするスローフードの素晴らしさを再認識。スパイスの話、薬膳料理の話、長寿、養生法についても幅広くお話ししたいと思います。

15:40~17:00

【ヨーロッパでの庭造り~枯山水庭園は語る。】

講師紹介



野村勘治(のむらかんじ)様

(有)野村庭園研究所取締役/三重大学非常勤講師  
日本庭園学会理事 京都林泉協会副会長

1950年愛知県生まれ、東京農業大学短期大学卒業。庭園研究家 重森三玲に師事。

住宅から商業及び公共・和から洋・多様な外空間の設計及び施工、100以上の古庭園の実測調査、著述・講演等で日本庭園の魅力を紹介。

講演概要

今から10数年ほど前から度々ヨーロッパに渡り、5つの日本庭園を造った。全て枯山水庭園である。発案及びこれを推進したのはドイツ・ミュンヘン在住のノンフィクション作家・村木眞寿美さんである。

大小5つの庭は、チェコ・ドイツ・スイス・オーストリア・ハンガリーの5ヶ国に造られた。庭は日本と彼の地の友好を記念する為のものだが、単にそれだけではなく、禅院の枯山水庭園が本来有していたメッセージを伝えるものとして造形された。ある意味で禅宗庭園はテーマを空間及び個々の石に重ねる事によって表現する造形であり、無とか侘とか曖昧な表現で語る造形ではない。現在では忘れられがちなメッセージと表裏一体となった5つの庭園、共通項は友愛・鎮魂を願う陰陽和合の丸い枯山水である。古典的でモダン、和風でグローバルな庭と自負している。

ちなみに数年ぶりに今年4月に6つ目の庭をドイツで造ることになった。完成ホヤホヤの庭を含め、6つの庭のテーマと作庭談。登場人物は日本にドイツ医学を伝えたバルツ博士、クーデンホーフ光子とEUの父と呼ばれているリヒャルト・クーデンホーフ＝カレルギー。